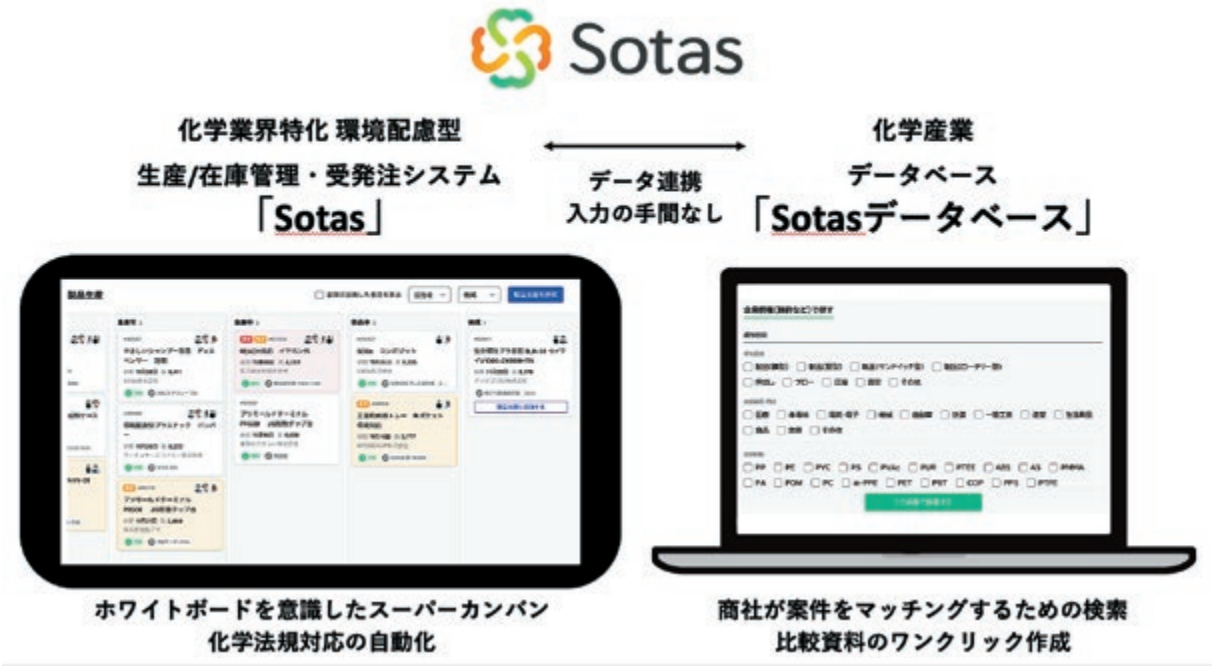

第133回 かわさき起業家オーディション

「かわさき起業家賞」 受賞

素材系中小企業の経済成長と環境負荷低減の基礎を作る「Sotas」

Sotas株式会社

代表取締役社長

吉 元 裕 樹

当社は、化学業界に特化した生産管理、在庫管理システムを提供しているスタートアップです。事業の目的として、「地球に長生きしてもらう」をキーワードに掲げています。

2050年のカーボンニュートラル達成に向け、大企業の取り組みは加速していますが、中小企業の中にはまだそこまで意識していない企業もいらっしゃいます。日本の全企業の99%以上を占めるのは中小企業です。特に化学産業のCO_2排出量は、鋼鉄産業に次いで2番目に多いといわれており、中小であってもカーボンニュートラルに向き合わずにはいられない時代がすぐに訪れます。

ですが、経営資源が豊富な大企業と違って「環境のことにまで手が回らない」という声を耳にすることも多いです。こうした中小企業が、環境配慮にしっかり向き合っていくためには、「経営の安定」と「売上の向上」が必須条件となります。そこで私たちは、化学業界の中小企業が抱える悩みを解消し、経営を支援するためのシステム「Sotas工程管理」と「Sotasデータベース」を開発しました。デジタルの力によって、中小企業が経営の安定と環境負荷の軽減を両立するビジネスモデルを確立できるよう、サポートしていきます。

受賞したビジネスに至った経緯

私はもともと化学業界に在籍しており、インドネシアで仕事をしていた時期がありました。現地でディストリビューター（代理店）を探していたときに、12次店まで取次をはさまなければならないケースに遭遇し仰天しました。これだけの代理店を経由してしまうと、いくら日本の素材や技術が優秀でも、適正な価格で取引することができません。この部分をデジタルの力でなんとかできないかと思ったことが「Sotasデータベース」を考え始めるきっかけとなったのです。

その後、自動車業界に転職した私は、あるプラスチック製品を作ることができるメーカーを探していました。大手素材メーカーからの依頼で、かなり規模の大きな案件になる予定でした。30社ほどの商社に声をかけ成形メーカーを探しましたが、依頼された条件で作ることができる企業は見つからず、その案件は残念ながら流れてしまいました。しかし、その翌年、まったく別の案件で出会ったある町工場に、求めていた成形技術があることが分かりました。もう少し早くこの企業と出会えていたら……と悔しく思うと同時に「知らなかったり、知られていなかったりすることで、損をしている企業は本当に多いんだ」と実感しました。優れた技術を持っていても、それを発信できない町工場や中小企業はもちろん、個人商店化していて自社の持っている情報をしっかりデータベース化できていない商社も多々あります。そこで、条件に合った企業を探したい商社やメーカーと、化学業界の町工場や中小企業をつなげるシステムをつくりたいと考えて「Sotasデータベース」というアイデアが固まりました。

サービスの特徴

「Sotas工程管理」は、化学業界に特化した生産管理システムです。工場のホワイトボードをヒントに開発された「カンバン方式」を取り入れ、化学業界ならではの各種法規にも対応しています。中でも、環境配慮への対応機能が搭載されていることは大きな特長です。

大手企業との取引では、生産時に環境への配慮を求められることが増えてきました。しかし、「環境対応といわれても、何をすれば良いか分からない」と戸惑っている中小企業も少なくありません。そこで、業務フローの過程でGHG（温室効果ガス)を可視化できる機能や、SDGsに向けたレコメンド機能などを搭載し、専門知識がなくても環境に配慮した取り組みができる仕組みを整えました。また、現場と管理者のどちらの立場からも工程が見やすくなるように、ガントチャートとのビューの切り替えができることもクライアントからは好評です。「Sotasデータベース」には、化学業界に特化しているからこそできるピンポイント検索や、ワンクリックで資料が比較できる機能を搭載しています。

工程管理やデータベースサービスを提供している企業は多々ありますが、化学業界に特化したサービスはほかにありません。何よりも、化学業界出身の私が「間違いなく業界に必要とされるサービスである」と確信しているので、ニーズは十分にあると感じています。

現状の課題

化学業界はDX推進への意識が非常に低いという課題があります。私自身、転職を経て、改めて化学業界のITリテラシーの低さに気づかされました。これは、私たちだけの努力で解決できる課題ではありません。業界全体でDXへの気運を高めていくようなアクションが必要です。そのために、自治体や国への提言もはじめています。

また、サービス面にもまだ改良の余地があります。最近では大手企業から声をかけていただくことも多く、既存システムと当社サービスとの連携を求められることも増えてきました。中小でも従業員が50名を超えるような企業は、そのほとんどが何らかのシステムを導入されており、「この部分だけをSotasさんにしたい」といわれるケースがあります。そのため、オブジェクト指向で機能を分けて、スムーズに連携できるような仕組みづくりも必要だと考えています。

組織体制の課題としては、早急に取締役を増やす必要性を感じています。現在、取締役は私一人しかおらず、日々の業務に忙殺されているため、会社全体の付加価値を上げられるような動きがなかなかできていません。今後組織を大きくしていくいためには、信頼できる人材に徐々に権限を委譲し、私と共に経営判断や意思決定を担ってもらう必要があります。また、SaaS型のサービスを提供する企業にとって、技術職のトップであるCTOの存在もたいへん重要なものになります。そこを任せられる人材を早めに見つけることも直近の目標です。

今後の展開

日本の技術は今もなお世界でトップクラスであり、従業員数名の小さな町工場が、どんどん海外進出を進めているなど、驚かされることもしばしばあります。そのため私たちのプロダクトも、早めにグローバルを意識したものにしていきたいと思っています。

また、現状の工程管理とデータベースのシステムに加えて、今後はより環境に資するサービスにエッジを効かせた展開も考えています。具体的には、生産工程で廃棄物を発生させないサーキュラーエコノミーへのビジネス展開を模索しており、現在パートナー企業と話を進めているところです。

さらに、5〜7年後の株式公開も目指しています。事業拡大のチャンスが広がることはもちろん、海外投資家からの資金調達がしやすくなったり、創業メンバーの士気や市場価値が上がったりと、メリットはたくさんあります。今後の選択肢を増やすためにも、株式公開はぜひ達成したい目標の一つです。

エントリーを検討中の方へ一言

自分のビジネスを本気で伸ばしたいと考えている方にとってメリットばかりですので、ぜひ応募されることをおすすめします。かわさき起業家オーディションは、ほかのピッチイベントと比べて賞の数が多く、たくさんのチャンスがあり、モチベーションを高く持って挑むことができると思います。また、発表内容そのものに加え、川崎というエリアや社会全体の課題解決に、熱意をもって取り組んでいることも評価いただけるオーディションだと思います。経験が少ない方も不安に思わず、勇気を持って応募してみてください。

会社名：Sotas株式会社
住　所：〒212-0032
神奈川県川崎市幸区新川崎7-7 KBIC本館236
電話番号：☎03-6823-2826
ホームページ：https://sotas.co.jp/